

8月16日（火）
総務文教常任委員会

調査件名
●広野駅周辺開発について

報告

を報告します

総務文教

広野駅周辺開発

駅舎と周辺の改修

資料に基づき、広野駅周辺開発の「広野駅バリアフリー化事業」「広野駅舎改修事業」「広野駅ロータリー整備事業」について復興企画課長の説明を受けました。

説明の後、各委員からの質疑がありました。「エレベーターが設置された土地の所有について、駅のトイレ等の管理について、駅舎改修による全体設計について、ロータリーの整備で北側と南側の駐車場が含まれるのかどうか、駅舎の改修ではワークショップでどのような意見が出ているか。JR水戸支社との協議の進捗状況について、エレベーターが災害時に停止する震度と、災害時に役場の現場対応について」等です。これらの質疑に復興企画課長から説明がありました。「JRとしっかり協議をし、管理区分、土地の境界を明記しJRから購入する形で整備したい」「トイレなどの管理は、JRと町との、

協定の中で盛り込まれている」「駅舎とロータリーは、財源が異なるが、基本設計の中に一部盛り込む」「県との協議が必要だが、北側駐車場はロータリーと一体になり、南側は駐車場として明記されている」「ワークショップでは、飲食ブース、本屋などの販売、フリーWiFiをつけてほしい、等の意見がある。無人化でJRとしての駅機能は十分あり、また交流施設としての整備を検討しているが、コロナ禍でJRとの協議が遅れているが、防災機能を広野駅に備える防災拠点にもしたい」「防災機能のこと、駅舎への愛着があること等を踏まえ、今の広野駅のイメージを残しながら新しい駅舎を整備したい」「エレベーターの災害時の対応は管理会社が担うが、町は災害時に巡回をして行く」以上が説明されました。総務文教常任委員会はこの議案の継続審議にすることを決めました。



広野駅西側

委員会

各常任委員会の活動状況

8月17日（水）
産業厚生常任委員会

調査件名
●農林業の振興について
●町の道路行政について
●ため池の放射性物質の確認について

産業厚生

農林業の振興

令和4年産米のモニタリング検査

広野町では昨年まで全袋検査を行い、50Bq/kgの基準を超える米が無かったことから、町内から3点を抽出する検査を開始することになるとのことでした。

休耕田面積と活用

100haほどの水田が作付けされておらず、これらの水田は野菜作り等に活用を検討しているとのことでした。

肥料高騰緊急対策事業

今回の支援事業は、米価下落への対策を基本とした農家支援が目的であるとのことでした。

産業厚生

町の道路行政

道路側溝へ蓋の設置を

幅員が狭い道路の側溝に蓋を設置し幅員を確保するように要望し、対応していきたいとの回答がありました。

町道の路線図作成

駅東側の開発が進んだことも踏まえ、都市計画図の修正を進め、完成後に最新版の路線図を作成して公開する予定とのことでした。

産業厚生

ため池の放射性物質

調査結果と現状

町内の農業利用の確認がされている30カ所のため池で放射性物質濃度等を測定する調査を実施し、すべて基準値を下回ったとのことでした。

西の沢ため池は、国による調査が行われ、基準値を下回っているとのことでした。

今年度は新たに農業利用が確認された1カ所のため池の基礎調査を行っているとのことでした。